



高い操作性と高画質で検査をサポートする カラー超音波画像診断装置『SONIMAGE (ソニマージュ) 513』新発売

2009年9月29日

コニカミノルタエムジー株式会社（本社：東京都日野市、社長：谷田 清文、以下 コニカミノルタ）は、カラー超音波画像診断装置『SONIMAGE 513』を10月1日より新発売いたします。

超音波画像診断装置は、受診者の負担が少なく、リアルタイムに画像を観察できるため、幅広い臨床領域で使用されています。

このたび発売する『SONIMAGE 513』は、上位機種並みの画像処理性能を備えるとともに、検査がスムーズに行えるように操作性を追求した、コンパクトサイズかつ軽量の超音波画像診断装置です。また、CR*コンソール/ビューワ/ファイリング機能を一体化したオールイン端末「REGIUS Unitea (レジウス ユニティア)」と連携することにより、検査画像をCRなどと合わせて一元管理することができます。

* Computed Radiography: デジタルX線画像読取装置

■製品名： 『SONIMAGE 513』（認証番号：221AABZX00132000）

■発売日： 2009年10月1日

■標準小売価格（税別）： 27,000,000円

■主な特長

1. 多彩な画像処理機能を搭載

ボタン1つで輝度、コントラストなどの画質を最適に自動調整する Quick Scan 機能をはじめ、多彩な画像処理機能を搭載し、よりノイズの少ないシャープな検査画像を提供します。

2. 高い操作性とコンパクトボディ

スタンバイ機能により、起動時間は30秒を実現し、必要なときにすぐに使用できます。また操作パネルは、よく使う機能を手前中央に集中的に配置し、スムーズな検査をサポートいたします。さらに、大きな設置スペースを必要としないコンパクトボディ設計で、検査に使う時も、軽量かつ大型キャスターの採用により、簡単に移動ができます。

3. REGIUS Unitea との連携により画像の一元管理が可能

標準で、オールイン端末「REGIUS Unitea」とDICOM*接続が可能です。CR、内視鏡などの画像と合わせて、検査画像の一元管理が可能です。

*「Digital Imaging and Communication in Medicine」の略称で、ACR-NEMA（ACR：北米放射線専門医会とNEMA：電気工業会が共同で結成した委員会）によって定められた医療画像機器のためのネットワーク規格

コニカミノルタでは、今後も画像診断の幅広いニーズに対応するソリューションの提供に努めてまいります。

■本体仕様

走査方式	電子コンベックス走査、電子リニア走査、電子セクタ走査
走査モード	Bモード、Mモード、カラードプラモード、パルスドプラモード、パワードプラモード、連続波ドプラモード
画像保存	80GB
画像処理	FullSpectrum Imaging、Multibeam Processing、Speckle Reduction Filter、Quick Scan、Tissue Harmonic Imaging
オプション	DICOM 接続ライセンス、フットスイッチ、循環器計測ソフトウェア、各種プリンター
データ出力	CD/DVD、USB (BMP、JPEG、TIFF、DICOM)
モニター	15インチLCD
電源電圧	AC100V/10A・50/60Hz
外形寸法	W 450×D 700×H 1380mm
重量	63kg



『SONIMAGE 513』

————— 本件に関するお問い合わせ先 —————

報道関係： コニカミノルタホールディングス株式会社 広報グループ TEL: 03-6250-2100
 お客様： コニカミノルタヘルスケア株式会社 営業本部 TEL: 042-589-1439